

会 議 録

会 議 名	第 2 3 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 9 回		
事 務 局	公民館本館		
開 催 日 時	平成 2 7 年 4 月 7 日 (火) 午前 1 0 時～ 1 1 時 3 0 分		
開 催 場 所	公民館本館 学習室 A		
出 席 委 員	菅沼委員、花淵委員、福井委員、野口委員、山本委員		
欠 席 委 員			
事 務 局 員	若藤事業係長 長堀主事 (再任用)、岡本主任、森田臨時職員		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	なし
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 職員の人事異動について 2 第 3 2 期第 1 6 回公民館運営審議会の報告 3 主催事業について <ol style="list-style-type: none"> (1) 市民がつくる自主講座について (報告) (2) 市民映画会について (報告) (3) 障害者青年学級について (報告) (4) 成人大学講座について (報告) (5) 平成 2 7 年度高齢者学級シルバー大学について (6) 平成 2 7 年度成人大学講座準備会について (7) その他 4 その他 5 配付資料 <ol style="list-style-type: none"> (1) 会議次第 (2) 第 3 2 期第 1 6 回小金井市公民館運営審議会の報告 (3) 平成 2 6 年度市民がつくる自主講座実施報告 (4) 平成 2 6 年度市民映画会実施報告 (5) 平成 2 6 年度障害者青年学級実施報告 (6) 平成 2 6 年度成人大学講座実施報告 		

〔司会〕 福井委員

1 職員の人事異動について

若藤係長 4 / 1 付異動。鈴木（本町分館）が退職。山崎（庶務係）が子育て支援課へ。牛込が生涯学習課から庶務係へ。倉澤（東分館）が本町分館へ異動し産休、代替として宗像が本町分館へ。岡本（本館）が東分館へ。本館に森田が配属。

菅沼委員 新年度になったので異動後の新しい事業予定表を作成してください。

司 会 では次回提出してください。

2 第32期第16回公民館運営審議会の報告

若藤係長 報告事項（公民館業務の見直し、都公連委員部会、今期公運審の日程、公民館事業の報告、その他）、協議事項（平成27年度都公連定期総会代議員の選出）、審議事項（公民館事業の計画、小金井市公民館手帳）、詳細は別紙の通り。

菅沼委員 公運審は「東分館のNPO委託は条件が整ったと判断できれば可」との答申を出したが、その検証はどうなっているのですか？

司 会 7月が今期最後の審議会とのことです。それまでにそのことを議題にのせるよう職員がサポートする必要があります。

野口委員 企画実行委員からそういう意見があったことを公運審委員に伝えてください。

司 会 小金井市公民館手帳は何部作製し、どの範囲に配布されるのですか？

花淵委員 東分館へのNPO委託はいつ正式に決定されるのですか？

司 会 これらについては分かる範囲で聞いておいてください。

3 主催事業について

(1) 市民がつくる自主講座

岡本主任 一般部門は8講座、延べ参加者数557人、男女共同参画部門は7講座、延べ参加者数488人でした。詳細は別紙の通り。

(2) 市民映画会

岡本主任 平成26年度の総参加人数は784人、平均して毎回50～60人の参加でした。10月からは貫井北分館と本館と交互に開催し、貫井北分館ではDVDでの上映となりました。平成27年度も私が担当します。詳細は別紙の通り。

(3) 障害者青年学級

若藤係長 4月から翌年3月まで年間25回開催、サマーキャンプや修学旅行など宿泊もあります。参加者は53人で定員50人を超過。そのため新規募集はしていませんが、希望に応じて随時受け入れています。継続参加者が多いため、中には60歳前後の方もいる等参加者の高齢化が課題です。ボランティアが23人いますが、この方たちの協力がなければとてもやっていけない状態です。ボランティアは引き続き募集しています。詳細は別紙の通り。

菅沼委員 学級生の入れ替えはあるのですか？

若藤係長 入れ替えはありませんが、毎年度毎に参加申込書を出してもらいます。

菅沼委員 日曜日の半分はこの学級に掛かりきりになるわけですから、宿泊もあるようですし、大変な業務だと思います。

(4) 成人大学講座

長堀主事 参加者数125人、延べ316人、毎回100人以上の出席。40代以下の参加者が5人、80代が18人、出席率は約84%。講師の話が素晴らしく、地域を見つめる視点をテーマとした企画も良かったと思います。課題として、25年間継続している事業ですが東京学芸大学との連携の意味が変化してきていること、多数の参加者の終了後の学習継続及びつながりづくり、この2点を上げておきます。詳細は別紙の通り。

菅沼委員 東京学芸大学側から断られない限り、この講座は同大学を会場とする現在の形を継続するべきだと思います。

野口委員 学習継続については、アンケートの中で意向を伺う方法もあります。意思のある方は名前と連絡先を書いてもらうとか、何らかの係わり方を考えてみては如何かと思います。

(5) 平成27年度高齢者学級シルバー大学

長堀主事 講師の名前や回のタイトルなど最後まで未定だった部分も決まり、参加受付を待つばかりとなりました。すでに早々と12人ほどの応募があります。

(6) 平成27年度成人大学講座

長堀主事 昨年度、会場確保に苦労したので、今年度は早めに交渉したいと思います。8月から9月の火曜日の3回を希望し、先に会場確保した上で企画に入りたいと思います。

司 会 次回のこの会に内容を決めたいと思います。各自考えてきてください。

4 その他

(1) 企画実行委員連絡会について

菅沼委員 5/19に予定されています。提出する資料の用意をお願いします。

司 会 出席できる人で対応したいと思います。

(2) 利用者懇談会について

菅沼委員 利用者懇談会は各館で開催しているのですか？ 年に何回開催等のルールはあるのですか？ 先日、本館の利用者懇談会に出席してみて、市民の声を吸い上げるにもとてもよい企画だと思いました。是非もっとやればよいと思います。

若藤係長 利用者懇談会の開催状況は各館によりばらつきがあります。開催している館でもせいぜい年に1回です。利用者懇談会だけの開催だとなかなか人が集まらないのでロッカー抽選等と重ねて利用者が集まり易い工夫をしています。

長堀主事 貫井北分館では委託仕様書に明記されているので年に2回開催しています。委託施設で開催しているのに直営施設で開催しないわけにはいかないと思います。範を示すべく本館も開催しました。直接顔を合わせて話し合うことは、公民館側、利用者側、相互にそれぞれ意義があると思います。

(3) その他

司 会 今回は、5/12(火)午前10時から行います。(開館日です)
本日はこれにて終了します。お疲れさまでした。